特定非営利活動法人 おやじりんく

おじゃりんく通信 第10号

〜障害のある人の可能性を広げる〜

輝HIKARIスタッフ合同研修会を開催

平成28年11月19日は、浦和コミュニティーセンターにて、「輝HIKARIスタッフ合同研修会」を開催しました。この研修会には当団体が運営する「輝HIKARI」の4施設のスタッフ、そして一般参加者併せて約60名の方が参加。研修テーマは「障害のある人の可能性を広げる」と題して、講師には社会福祉法人JOY明日への息吹の理事長の緒方克也氏にご講演を頂きました。

講演内容は、「JOY倶楽部創設までの経緯」と「医師として考えるこれからの医療と福祉の連携支援」。JOY倶楽部とは、障害福祉サービス事業所の就労継続B型である、プロの音楽集団です。今から20年ほど前、障害のある人の可能性や新しい職業の在り方を通じて、JOY倶楽部を創設。当時はたくさんの方が「できないだろう」と思っていた障害のある方の文化芸術からのサービス提供を実現しました。その経緯から、運営に至る様々な問題や課題について取り組まれた事をお話し頂きました。

▲講演をする緒方克也先生

もう一つの内容は「医師として考えるこれからの医療と福祉の連携支援」について。

緒方克也理事長は、歯科医師として40年以上に渉り、障害のある方の歯科診療を勤めてこられました。また地元福岡では、おがた小児歯科を開設し、障害のある方の歯科診療を行い、他には、日本障害者歯科学会の理事長を務められたご経歴もある方。歯科医師として、福祉とどのように連携をしていくか?という中で「歯科治療とは福祉の一つ、いかに福祉サービスとの連携が必要か?」という観点で、3つの事例から、医療と福祉の連携について大切であると言うことを伝えられました。

当団体のスタッフにとっても参加された方々にとっても、障害のある人の可能性を広げることを実感できた研修会でした。

障害児を抱えるオヤジの ミニ勉強会を開催中！

毎月1回平日の夜に、さいたま市内の研修室にて当団体が主催する「障害児を抱えるオヤジのミニ勉強会」を行っています。

毎回、この勉強会は「障害者の就労」をテーマとして、障害者の在宅就労（テレワーク）や、知的障害者の革新的な雇用スタイルなどを学んでいます。

勉強会には、ドコモ・プラスハーティ（ドコモ特例子会社）の部長や、ニューヨーク在住のコミュニケーションセラピストのカニングハム久子先生などの専門家を招いて、父親たちが集い障害者就労についての意見交換などを行っています。

井上雅彦教授との対談イベント

発達障害のある子どもに父親ができること

平成28年12月22日は、中目黒にある㈱LITALICO本社にて、発達ナビ主催のイベント『発達障害のある子どもに父親ができること「おやじりんく」金子訓隆・井上雅彦教授対談イベント』を開催して頂きました。発達ナビ編集長の鈴木氏より㈱LITALICOの企業紹介、発達ナビの紹介などの後、井上雅彦先生から、家族支援としてペアレントメンターの事業や、父親の支援参加の必要性をお話されました。

当団体代表理事の金子からは、父親の関わり方について自身の体験と活動から伝えました。その後、3人の対談と参加者との意見交換。今回約70名の参加者の9割は男性。発達障害児の父親が大半でした。父親として今後どうしたらいいか?など、ご質問を受け、意見交換を行いました。

▲左から来賓の山本博司参議院議員と井上雅彦教授と当団体の金子

わくわく☆チャレンジ祭

平成28年9月18日は、埼玉県障害者交流センターにて「わくわく☆チャレンジ祭2016」が開催。

このイベントで、当団体が担当した内容は「行政と父親の視点から考える障害者の就労について」と題し、講演とシンポジウムの二部構成で行いました。

第一部は「岡山県総社市が取り組む障がい者千人雇用について」と題して、当団体の金子代表が講演を担当。2年間に渉り、8回の総社市への訪問と、片岡聡一市長と12回の交流を重ねて学んだ、総社市の障がい者千人雇用について語りました。また、片岡聡一市長から送られた、この講演のお祝いビデオメッセージを紹介しました。

第二部は、埼玉県福祉部福祉政策課のご担当者、さいたま市障害者総合支援センターの所長にご登壇頂きシンポジウムを開催。埼玉県内の障害者雇用、推進への取り組みについてご紹介頂き、啓発パンフレットやセンターの案内など配布。埼玉県やさいたま市が取り組んでいる障害や雇用推進についてアピールをして頂きました。

「障がい者千人雇用の実現に向けて!」 岡山県総社市 片岡市長と共に講演

平成28年8月3日、神戸市長田区のアートシアターdB神戸にて、㈱WAPコーポレーション(エコールKOBE)が主催しての研究会4周年記念例会として「第25回 障害者に就労の機会を!」が開催されました。

この講演会では、当団体代表の金子が「他市からみた総社市の障がい者千人雇用の取り組みについて」と題して、岡山県総社市の障がい者千人雇用について紹介。続いて特別講師として参加された、総社市長の片岡聡一氏について市長の人柄を交えて千人雇用の強い取り組みについて紹介を行いました。その後、片岡聡一市長が「障がい者千人雇用の実現に向けて」としてご講演をされました。総社市長になられてから、障がい者千人雇用を始めるいきさつや、それまでの道のりや楽しかった話、苦労されたお話しなど多岐に渉ってお話しをされました。

また、現在では特別支援教育について、各学校に加配の増員を行い、幼少期の発達障害児への支援について拡充されている話などもされました。講演の最後には、得意のピアノ演奏を披露。講演会当日までは、ピアノ演奏は予定にありませんでしたが、片岡市長が「ご参加頂いた皆さんに敬意を表し演奏でお応えしたい」とのことで、総社市の幼稚園や小学校の卒業式で演奏をされている曲「ひまわりの約束」を演奏されました。参加された150名の方も、演奏にとても喜ばれました。

(株)ドコモ・プラスハーティを視察 先駆的な障害者雇用の現場を理事たちで見学

平成28年5月19日と12月19日の2回に渡り、㈱NTTドコモの特例子会社である㈱ドコモ・プラスハーティを訪問し、障害者雇用の取組みについて見学。担当者にお話しを伺いました。

ドコモ・プラスハーティは、重度の知的障害がある方を中心に、オフィスビルの衛生管理等を業務の主軸として活動しています。清掃システムは、感染防止を目的としたホスピタルグレードの清掃システムや失敗しない道具(障がい者の使用に適したツール)を使用。また、人体に無害な消毒洗剤を使用した消毒清掃や品質の可視化、食品衛生検査指針に掲載されるなど既に定着した洗浄の評価方法を活用しています。

オフィス清掃は身体への負担軽減のスイーパーの使用や、マイクロファーバークロスなど脱3K(×きつい・×汚い・×くさい)を推進しています。

その他の取り組みでは毎日の公文式学習の実施を導入しています。ジョブコーチが指導者で、公文式学習(国語・算数)各教科30分、合計1時間毎日行っています。老化・退行への効果的な対策であり、企業に課せられた従業員の能力発揮・言葉を用いた円滑なコミュニケーションを日々学習しています。指導役の社員も、一日でも長く、社会の一員として能力を最大限に発揮しつつ活躍するための効果的な支援方法を模索できる仕組みです。障害者雇用において大変参考になりました。

「安全」に対する意識を高める! 輝HIKARIスタッフ研修会を開催

平成29年1月17日は、さいたま市内にておいて、当団体が運営する放課後等デイサービス「輝HIKARI」の4施設合同のスタッフ研修会が開催され、職員31名が参加。講師は㈱ライフサポートの富岡竜一さんに行って頂きました。

内容は、「知的障がい者施設のリスクマネジメント」と題し、様々な障害者施設で起きた事故事例を参考にして、リスクマネジメントや事故防止、危険回避等学びました。また利用者のリスクアセスメント、施設側、利用者側の両方の観点からリスクについて1時間30分に渉りお話しを頂きました。

LUSH クレイソープイベント

平成28年7月16日は、埼玉県障害者交流センターにてクレイソープイベントを開催しました。

イベントには当団体が運営する放課後等デイサービス「輝HIKARIさいたま」と「輝HIKARIみぬま」の子どもたちが参加。カラフル粘土のような洗隊レンジャー(石鹸)で好きな形を作り、プールに入れて皆で泡遊びをしました。